

The Second JUACEP Seminar

第2回 名古屋大学日米協働教育プログラムセミナー

マイクロ・ナノ工学分野の 米国大学院教育活動と技術移転

講師：倉林活夫

ミシガン大学工学部機械工学科／電気工学・コンピュータ
サイエンス科 兼任准教授

日時 2012年2月29日 13:30～

場所 ES総合館3階 033教室

米国の国際競争力の源は、その国内はもとより、世界各国から選りすぐられた優秀な留学生たちを惹きつける大学院教育システムにあるといえます。米国大学院の教育は、個々の研究室での研究指導以外に、きわめて体系化されたコースワークといわれるカリキュラムを提供しています。このコースワークこそが、米国大学院生たちの学問的知識の深く幅広い体得を可能とし、彼らの学位の国際的ブランド力を保証するのです。このセミナーは、ミシガン大学で行われているマイクロ・ナノ工学分野の大学院教育プログラムの例を紹介し、サービスとしての教育の充実をいかに図っているかを議論します。さらに、ミシガン大学での研究の技術移転・産業創出がいかに行われているかについても個人的な経験をもとに紹介いたします。当セミナーは、大学院教育に興味のある大学職員および学生を対象に行います。

略歴：倉林活夫。米国ミシガン大工学部学機械工学および電気工学・コンピューターサイエンス科准教授。1992年東京大学工学部精密工学科卒。1994年にスタンフォード大学材料科学部修士号、1998年に同大学Ph.D.取得。その後スタンフォード大学研究員を経て、2000年1月より、ミシガン大学助教授に赴任。現在の研究テーマは、生体・医療・環境分野の先端計測マイクロ・ナノデバイス開発と基礎研究。こうした研究分野で5つの米国特許取得と80以上の論文・著書執筆。2001年米国科学財団（NSF）Early Faculty Career Development (CAREER)賞、2005年Robert Caddell 記念賞、2007年Pi Tau Sigma Outstanding Professor 賞受賞

お問合せ 機械理工学専攻 教授
梅原（2785） / 巨（4672）